

# 漁海況速報

3-No. 27

茨城県水産試験場  
漁業無線局

令和3年10月 1日～10月 7日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

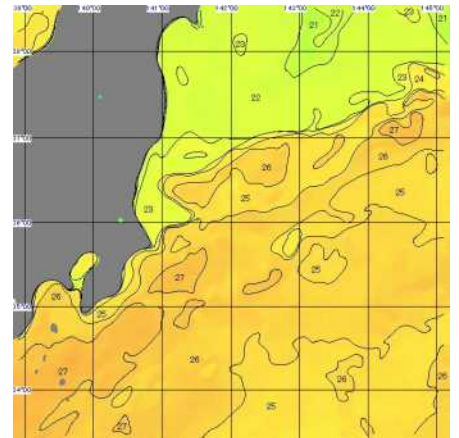
那珂湊定地水温 (°C)

日	年 令 3	令 2	平年
10/1	22.0	21.4	21.2
2	21.6	21.3	21.1
3	21.7	21.5	21.0
4	21.9	21.3	20.9
5	22.0	21.2	20.8
6	22.0	21.0	20.8
7	21.7	20.8	20.7
平均	21.8	21.2	20.9

30年平均: 1991~2020年

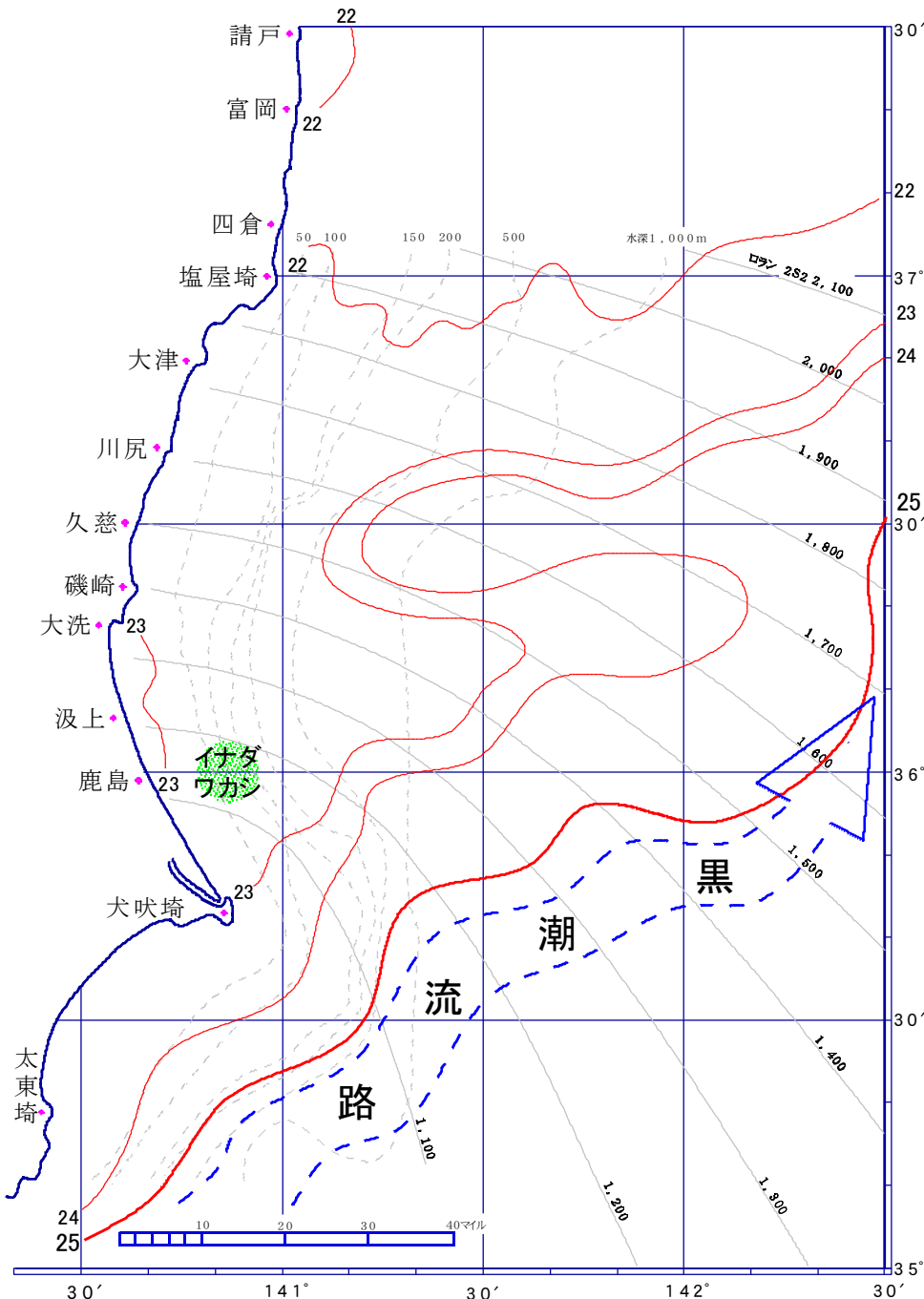
令和3年10月 1日～10月 7日

【1週間合成衛星画像】

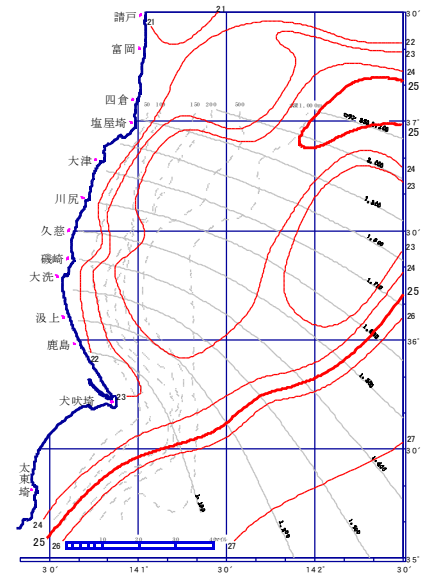


## 【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東20マイル付近を北東に流れ、  
36°30'N 142°30'E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、22～23℃台の水温となっている。



【海況図】



令和 2年10月 2日～10月 8日

【海況図】

# 漁況の特徴

3 - No. 2 7

属地、単位＝四捨五入

9/30～10/6

◎

## まき網

(漁獲は1投網当り)

サバ・・・八戸の北東20マイル付近で1～45トンの漁獲。

イナダ・・・鹿島の東北東10マイル付近で1～5トンの漁獲。

ワカシ・・・鹿島の北東10マイル付近で1トン(1ヶ統)の漁獲。

◎

## 小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

シラス・・・大津地先から鹿島地先で12～1,040kgの漁獲。

カエリ・・・平潟地先から高戸地先で21～500kgの漁獲。

◇曳釣り

平潟地先から磯原地先でカツオ31～63kg、平潟地先から矢指地先でヒラメ5～13kg、那珂湊地先でカツオ10～100kg、シイラ1～5kg、那珂湊地先から銚田地先でヒラメ1～2kg、タチウオ1～2kg、サワラ2～4kgの漁獲。

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
シラス	船曳網	大津	5,838	400	2,335,421	58
		久慈浜丸小	5,682	381	2,168,055	14
		久慈町	7,000	379	2,655,037	20
		那珂湊	1,736	477	827,920	7
		大洗町	33,359	416	13,876,197	89
		はさき	13,132	316	4,143,642	41
カエリ	船曳網	大津	2,061	50	103,050	9
ヒラメ	小底5t以上	平潟	159	609	96,666	
		那珂湊	192	903	173,539	
	固定式刺網	大津	2	1,000	2,000	
		久慈浜丸小	23	2,011	45,250	
	その他釣り	那珂湊	9	1,751	15,230	
		大洗町	97	1,102	107,213	
	大型定置網	平潟	11	1,565	17,215	
那珂湊		21	2,482	51,930		
マコガレイ	小底5t以上	会瀬	12	1,227	15,088	
イシモチ	小底5t以上	平潟	30	381	11,467	
		久慈町	1	500	700	
		那珂湊	16	1,119	18,440	
タイ類	小底5t以上	平潟	71	107	7,610	
		那珂湊	10	427	4,100	
		大洗町	16	252	3,900	
アンコウ	小底5t以上	平潟	2,323	158	367,991	
		大津	5	142	765	
		久慈町	26	155	4,040	
		那珂湊	554	276	152,830	
		会瀬	1	423	550	
イセエビ	固定式刺網	大津	12	447	5,360	
		平潟	511	138	70,688	
		大津	35	600	21,060	
		久慈町	122	279	34,065	
スルメイカ	小底5t以上	那珂湊	89	542	48,194	
		平潟	84	2,500	210,000	
		久慈浜丸小	131	4,000	523,200	
		那珂湊	39	1,667	65,400	
		大洗町	4	3,000	10,500	
ヤリイカ	小底5t以上	その他漁業	4	1,667	6,800	
		平潟	1,654	272	450,060	
		大津	67	912	60,740	
		久慈町	294	604	177,445	
マダコ	小底5t以上	那珂湊	249	749	186,455	
		平潟	10	190	1,900	
		久慈町	9	579	4,980	
ミズダコ	小底5t以上	那珂湊	9	600	5,100	
		平潟	1	526	526	
		那珂湊	73	775	56,635	
ショウサイフグ	小底5t以上	平潟	1,472	165	243,530	
		大津	125	324	40,368	
		久慈町	614	305	187,455	
		那珂湊	194	300	58,185	
ホウボウ	大型定置網	会瀬	33	20	659	
アナゴ	小底5t以上	平潟	198	526	104,080	
		那珂湊	24	834	20,265	
		平潟	229	407	93,293	
マアジ	小底5t以上	大津	1	500	650	
		久慈町	9	407	3,660	
		那珂湊	11	1,088	11,970	
		平潟	529	76	40,153	
サバ	小底5t以上	久慈町	1	300	360	
		那珂湊	38	344	12,968	
		大津	(5)	2,000 (山売)	10,000	
ブリ類	その他釣り	会瀬	9	150	1,350	
		大津	(3)	1,700 (山売)	5,100	
カマス	小底5t以上	那珂湊	297	186	55,095	
		大洗町	45	237	10,700	
カツオ	その他釣り	会瀬	161	616	99,149	
		平潟	67	735	49,066	
		那珂湊	6	1,067	6,400	
		大洗町	24	648	15,290	

注 延隻数:銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

底魚資源調査（夏季）を実施しました

水産試験場では、本県沖の主要な底魚資源の動向を把握するため、平成15年から調査船いばらき丸（179t）により年2回（夏季、冬季）の着底トロール調査（オッタートロール）を実施しています。本調査では、本県沖の水深75～450mまでの海域、合計29定点において、15～30分間（速力3～4ノット）網を曳き、面積密度法により現存量を推定しています。今回は令和3年7、8月に実施した夏季調査結果についてお知らせします。

1 主要な底魚類の推定現存量の推移

平成21年から今年までの現存量の推定結果を下表に示しました。また、参考として、県で資源評価を行っている魚種については資源水準も記しました。直近5年間の推移から増減傾向を判定した結果、増加傾向にあるのはムシガレイ1種、横ばい傾向にあるのはエゾイソアイナメ（どんこ）1種、減少傾向にあるのはヤナギムシガレイ、ババガレイ（なめた）、アカガレイなど14種でした。ただし、直近3年間で見ると、アオメエソ（めひかり）の現存量が2年連続で増加しており、今後の動向が注目されます。その他、漁獲対象とはなっていないトラザメ（ねこざめ）は減少傾向、テナガダラ（とうじん）は横ばい傾向でした。前年調査と比べると、増加傾向の魚種は0種から1種に増加し、減少傾向の魚種は14種のまま変わりませんでした。

表 推定現存量の推移（夏季トロール調査）

		(単位:トン)													傾向	水準※
魚種/年度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
対象種	ヤナギムシガレイ	34	36	31	27	45	48	52	127	71	64	45	27	23	減少	中位
	ババガレイ(なめた)	42	48	38	91	77	71	53	96	79	70	49	25	17	減少	—
	アカガレイ	8	23	22	65	4	5	5	109	29	10	1	2	1	減少	—
	マコガレイ(本まこ)	19	18	30	28	5	5	16	29	26	19	50	14	18	減少	低位
	マガレイ(沖まこ)	12	23	44	37	7	11	23	20	16	15	5	1	0	減少	中位
	ムシガレイ	19	6	22	20	15	17	31	135	155	92	152	115	228	増加	高位
	ミギガレイ(にくもち)	65	50	77	83	197	107	65	162	111	105	85	36	46	減少	—
	ヤナギダコ(みずだこ)	102	339	245	267	313	213	250	199	217	270	111	68	77	減少	低位
	アオメエソ(めひかり)	48	8	23	27	409	69	48	312	193	260	57	110	160	減少	高位
	エゾイソアイナメ(どんこ)					163	173	156	387	242	151	157	130	218	横ばい	—
	マダラ	79	34	7	724	166	179	144	142	16	56	3	4	0	減少	—
	アカムツ					2	25	21	22	23	14	24	15	14	減少	—
	ユメカサゴ(のどぐろ)					22	29	26	32	111	189	78	30	37	減少	高位
	キチジ(あかじ)	61	58	17	50	21	10	15	31	64	52	13	23	9	減少	—
ズワイガニ(本ずわい)	103	141	149	59	40	73	58	108	111	9	3	0	3	減少	—	
ベニズワイガニ(紅ずわい)	66	118	88	82	1	1	1	1	12	0	0.2	6	0	減少	—	
参考	トラザメ(ねこざめ)	3,785	3,053	1,426	604	1,616	777	1,119	960	1,603	1,231	1,629	1,027	1,077	減少	—
	テナガダラ(とうじん)					977	1,389	6,559	1,126	907	1,113	2,116	340	1,210	横ばい	—

※水準:「茨城県産重要魚種の生態と資源」(令和3年3月更新、水試ホームページ)で報告している資源水準。—は未評価。  
※エゾイソアイナメ、アカムツ、ユメカサゴ、テナガダラは、H25調査から現存量計算。

2 アオメエソ資源の状況

今回の調査では、主に各地先の150～250mの水深帯で全長8～1cmのアオメエソが採捕されました。採捕個体の全長組成を深度別にみると、水深150mでは約8割が11cm以下の小型魚、水深250mでは約8割が13cm以上の大型魚、水深200mでは9～17cmで構成されていました(図1)。また、現存量をみると令和3年は全長9～16cmまでの各階級で増加し、全体では昨年からおよそ1.4倍に増加していると推定されました(図2)。今後の漁獲主体になることが期待される小型のアオメエソ(12cm以下)の割合が高い水深150m付近での操業を控えて、250m以深で操業を行うことが資源の有効利用につながると考えられます。(水産試験場 定着性資源部)

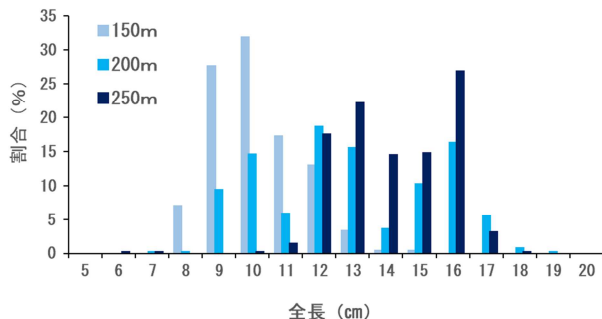


図1. アオメエソの深度別全長組成 (R3)

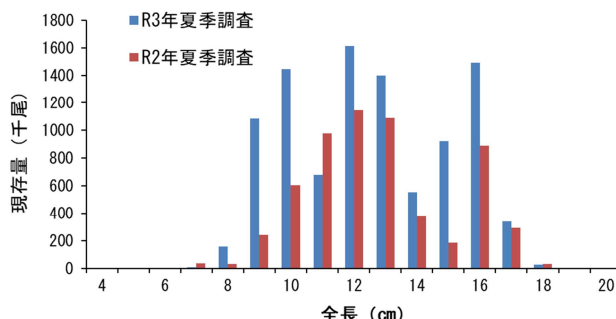


図2. アオメエソの全長別現存量 (R3, R2)

訂正のお知らせ

前回の水産の窓(鹿島灘はまぐりの資源状況)で「R2年の資源個体数4,302万個、資源重量4,535トン」と記載しましたが、正しくは「R2年の資源個体数4,308万個、資源重量4,577トン」でした。お詫びして訂正いたします。

【次回予告】令和3年10月15日発行の水産の窓は「海洋観測結果」を予定しています。